日本共産党船橋市議団
岩井 友子市議　金沢 和子市議
神子そよ子市議　坂井 洋介市議
松﨑 さち市議
市議団控室☎047-436-3030

日本共産党
前県議会議員
# 丸山慎一 がんばり通信

No.439　2021年11月14日（月1回発行）　marusin@mbn.nifty.com

発行
日本共産党西部地区委員会
〒274-0805船橋市二和東6-41-20
☎047-440-5240　FAX449-7004

右のQRコードでブログを見ることができます。HPは検索。
丸山慎一　検索

## 「気候危機」に危機感ない日本政府
## あくまでも石炭火力発電の継続に固執

**岸田文雄首相が11月に行われた気候変動に関する国際会議で、石炭火力発電所の継続に言及し、厳しい批判の声が上がっています。そもそも、先月に閣議決定した「エネルギー基本計画」での二酸化炭素（CO2）削減目標自体、世界と比べても低すぎます。**

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて1・5度に抑えるために、世界のCO2排出量を2010年比で45％削減する必要があると指摘しています。

日本政府の計画では2030年度までにCO2の排出量を2013年度比で46％削減することにしていますが、これは2010年比に直すと42％減にすぎません。政府の計画は、国連の要請に応えられず、世界の主要国と比べても、大きく遅れています（表1）。

### 世界では石炭火力は廃止が当然

しかも政府は、石炭火力発電所を国内で新たに9基も建設し、さらにインドネシアなどに輸出する構えです。

6月の主要7カ国（G7）首脳会議でも石炭火力発電は「温室効果ガス排出の唯一最大の原因」との認識で一致し、日本以外の国は期限を定めた石炭火力からの撤退を決めています（表2）。国連のグテレス事務総長も8月、石炭火力発電を2030年までに段階的に廃止するよう強く求めています。

### 「米がおいしいのは温暖化のため」

衆議院選挙中の10月25日、麻生自民党副総裁が街頭演説で、「地球温暖化にもいいことがある。北海道が温かくなって、お米がおいしくなった」と述べて、農業団体から抗議文が突きつけられる事態となりました。

こうした政権中枢の危機感の無さが、世界に逆行する要因の一つとなっています。

### 最低賃金が時給953円にさらなる引き上げが必要

千葉県内で働いている労働者の最低賃金が、10月1日から時給で28円引き上げられ、953円になりました。最低賃金は、どういう産業でも職種でも、正社員でもパートやアルバイトでも、性別や年齢にもかかわりなく、誰にでも適用されます。違反した使用者には罰則があります。

今回の引き上げは、1978年に現行の制度が始まっていらい最大の引き上げ幅となっており、コロナ感染の拡大で国民生活を支える医療や介護などの分野で働く人々が大幅引き上げを求めて声を上げた結果です。

しかし依然として大きな問題が解決されていません。

一つは額が低すぎることです。時給953円で1日8時間働き、週休2日でそれ以外に休まなくても、年収198万円にしかなりません。時給1500円になれば年収は312万円になります。

もう一つの問題は、都道府県ごとに額が異なることです。東京の最低賃金は時給1041円で千葉県より88円高く、江戸川を超えるか超えないかで、年収で20万円近く差が出ます。

一日も早く、時給1500円で全国一律最低賃金の実現が求められています。

〔千葉県の最低賃金額推移〕

| 年 | 時給 | 前年比 |
|---|---|---|
| 2017 | 868 | +26 |
| 18 | 895 | +27 |
| 19 | 923 | +28 |
| 20 | 925 | +2 |
| 21 | 953 | +28 |

（単位：円）

表1　主要国のCO2排出削減目標

| | |
|---|---|
| 欧州連合（EU） | 55%減（1990年比） |
| 英　国 | 68%以上減（90年比、2035年には78%減） |
| 米　国 | 50～52%減（05年比） |
| 日　本 | 46%減（13年度比） |

表2　主要7カ国（G7）石炭火発への態度

| | |
|---|---|
| フランス | 2022年までに撤退 |
| 英　国 | 24年までに撤退 |
| イタリア | 25年までに撤退 |
| カナダ | 30年までに撤退 |
| ドイツ | 30年までに撤退 |
| 米　国 | 35年までに「電力部門のCO2排出実質ゼロ」を表明 |
| 日　本 | 30年に19%維持 |

## 衆院選で激戦制した野党の候補者一本化62小選挙区で勝利

先月末の衆議院選挙で日本共産党は議席を減らし、今後に課題を残すものとなりました。

しかし、市民と野党の共闘が実現した結果、214小選挙区で候補者が一本化され、千葉8区や9区など62小選挙区で激戦を制して野党共闘候補が勝利しました。

前回は負けたのに、今回は勝利できた共闘候補は24人にのぼります。勝利に至らなくても得票の差が相手候補の1割以下の接戦だった選挙区は33ヵ所。自民党の甘利幹事長や石原元幹事長を野党共闘候補がやぶるなど、全体として野党共闘は大きな威力を発揮しました。

問題は、そうしたなかで立憲民主党や日本共産党がなぜ議席を減らしたのかにあります。その大きな要因の一つは、野党共闘による政権が、どういう政治を進めるのか、その展望を伝えきれなかったところにあるのではないでしょうか。

来年の参院選や再来年の地方選挙に向けて、新たな前進が求められています。

## 丸山慎一 活動日誌

10・1▼信号機設置で警察に要望
10・2▼赤旗チェックを収録
10・3▼原水協の宣伝
10・4▼国会召集宣伝
10・5～6▼宣伝カーで鎌ケ谷・白井・印西市川・松戸などを回る

10・7▼どこの空にもオスプレイはいらない@フナバシの対市要請／宣伝カーで柏市内
10・8▼津田沼革新懇の宣伝に参加

10・9▼総選挙に向けた決起集会／宣伝カーで松戸と柏を回る
10・10▼船橋市内7ヵ所で宣伝
10・11▼県から第2湾岸道路で聞き取り
10・12～17▼宣伝カーで市川・松戸・習志野・八千代・成田・四街道・千葉・我孫子・柏などを回る
10・18▼綱領学習報告
10・19～30▼衆議院選挙期間中は宣伝カーで県内を回る

10・31▼衆院選投票日